

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和4年9月1日
仙台管区気象台

東北日本海側と東北北部の8月は記録的な多雨

東北日本海側と東北北部の8月の月降水量は、1946年の統計開始以降、最も多くなりました。

8月は前線や低気圧、湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多く、上旬から中旬にかけて東北日本海側を中心に記録的な大雨となった所がありました。東北日本海側と東北北部の月降水量はそれぞれ平年比240%と279%でかなり多くなり、8月としては1946年の統計開始以降、最も多くなりました。(これまでの1位は東北日本海側で1998年の225%、東北北部で1998年の221%)

月降水量は東北地方にある17地点の気象台と特別地域気象観測所の観測値から算出しています。

詳しくは、下記URLより、「8月の天候」と「2022年8月の東北地方の天候」をご覧ください。

気象庁ホームページ 「8月の天候」
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2209/01a/tenko2208.html>

仙台管区気象台ホームページ 「2022年8月の東北地方の天候」
<https://www.data.jma.go.jp/sendai/data/tenkou/month/2022/202208TukiGaiyou.pdf>

問合せ先：仙台管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課
担当：近藤 電話：022-297-8177